

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2003-129006 (P2003-129006A)
【公開日】平成 15 年 5 月 8 日 (2003.5.8)
【出願番号】特願 2001-332091 (P2001-332091)
【国際特許分類第 7 版】
C 09 J 4/02
C 09 J 11/06
【F I】
C 09 J 4/02
C 09 J 11/06

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 5 月 24 日 (2004.5.24)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

(A) メタクリル酸メチルを主体とする単官能不飽和単量体を 50 ~ 99 重量部、(B) メタクリル酸メチルを主体とする不飽和単量体の重合体を 1 ~ 50 重量部、(C) ラジカル重合可能な二重結合を分子内に少なくとも 2 個有する多官能不飽和単量体を成分 (A) および (B) の合計 100 重量部に対して 0.01 ~ 2 重量部、および (D) 10 時間半減期温度が 40 ~ 60 の有機過酸化物を成分 (A) および (B) の合計 100 重量部に対して 0.01 ~ 1 重量部含有することを特徴とする樹脂用接着剤。

【請求項 2】

さらに、(E) 10 時間半減期温度が 61 ~ 120 の有機過酸化物を成分 (A) および (B) の合計 100 重量部に対して 0.01 ~ 2 重量部含有する請求項 1 記載の樹脂用接着剤。

【請求項 3】

少なくとも 2 枚の樹脂板を、請求項 1 または 2 に記載の樹脂用接着剤で接着してなる樹脂積層板。

【請求項 4】

少なくとも 2 枚の樹脂板を請求項 1 または請求項 2 に記載の樹脂用接着剤で接着することを特徴とする請求項 3 に記載の樹脂積層板の製造方法。

【請求項 5】

樹脂板と樹脂板との間に空隙を設け、該空隙に請求項 1 または請求項 2 に記載の樹脂用接着剤を入れて重合硬化させる請求項 4 に記載の製造方法。

【請求項 6】

樹脂板の表面に請求項 1 または請求項 2 に記載の樹脂用接着剤を塗布し、その上に別の樹脂板を重ねた後、前記接着剤を重合硬化させる請求項 4 に記載の製造方法。